

ほんべつ 議会だより

No.75

平成27年11月15日発行



とよたさんとつくろう! 手づくり絵本ワークショップ (10月3日 図書館)

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

第3回定例会

平成27年度一般会計他4会計の補正予算等を可決

平成27年第3回定例会は9月8日に開会し、一般会計他4会計の補正予算、本別町消防団の設置等に関する条例の制定などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された内容は次のとおりです。

条例



行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

番号制度導入（マイナンバー制度）に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

問 町として内容の周知徹底をしていく必要があるのでは。

答 町広報紙等で周知しています。さらに、適切な時期に周知等に努めています。

反対討論 阿保議員

いわゆる「マイナンバーバシー」の侵害や「なりすまし」犯罪を招く恐れがあることが否定されていません。

この制度が施行されると大きな懸念を禁じません。

よって、本条例案に反対です。

採決の結果

賛成者10人、反対者1人

で可決されました。

本別町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の制定

平成28年4月1日より消

防組織が池北三町行政事務組合から、とかち広域消防事務組合に移行することに伴い、これまでの消防団員の定員、任免、服務等について各町が継承するため制定します。

ていると思いますので、ある程度の報酬額の増額をしていくべきと考えますので反対です。

賛成討論 小笠原議員

本町議会から池北三町行政事務組合議会議員に3名選出しており、これまで同議会で報酬、費用弁償等について定めてきていますので、その条文を本別町が継承することに賛成です。

①団員の年額報酬

3万円の根拠は。

②十勝管内の平均と比べ、本町はどのくらいの差があるか。

答 ①年額3万円は人

事院勧告の改定率、

十勝管内の平均を参考にして決定し、平成10年4月から運用しています。

②平均は約3万100円ですでの、ほぼ同額です。

反対討論 山西議員

女性団員が活躍されますが、平成10年以降改定していないことや、将来のなり手が少なくなつてきて、安全、安心が脅かされる気がしますので反対です。

賛成討論 阿保議員

池北三町議会の規程をもとに提案されていることや、今まで改正がなかつたことは適正と判断されてきたからと考へるので賛成です。

採決の結果

賛成者7人、反対者4人

で可決されました。

平成27年度 各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(367万4千円)	スポーツ振興基金積立 (寄付金) 第三号橋橋梁応急補修工事 (臨時会)
	(7,540万9千円) 63億3,087万4千円	・旧営林署跡地(南広場) 利活用関連事業 ・地域プレミアム付商品 券追加発行支援事業 ・住宅改修助成事業 ・栄町団地建替事業 (定例会)
特別会計	(4,327万7千円) 13億8,467万8千円	保険給付費支払準備金 (定例会)
	(6万8千円) 1億1,910万円	決算確定による繰越金精算 (定例会)
	(1,166万円) 9億3,974万4千円	決算確定による繰越金精算 (定例会)
	(10万円) 2億7,373万1千円	車いす購入(寄付金) (定例会)
	(21万6千円) 1億4,234万5千円	配水管等施設修繕料 (定例会)
病院事業会計	(7万円) 14億9,744万9千円	医療施設等整備基金積立 (寄付金) (定例会・臨時会)

※第3回臨時会含む

一般会計補正

務課を予定しています。

コミュニティ助成事業 補助金

問 自治会連合会に補助をする、コミュニティ助成事業の内容について伺いたい。

答 アルミテント6張り、折り畳みテーブル8台、丸椅子40脚の購入を予定しています。貸出については、役場総

いきいき商品券事業

問 ①春の発行では、年金支給日、給料日が前回販売だったが、今回は対応されたのか。
②勇足、美里別、仙美里地区での販売はできないかと降の予定としました。

答 ①商工会と協議した結果、10月22日以



いきいき商品券

②持ち運び、保管方法などのセキュリティが課題ですが、要望を踏まえ商工会と協議していきたいです。

子ども未来ゾーンの開発行為を行うと

問 南広場地形調査及び子ども未来ゾーン開発行為申請（南3丁目）

答 ①このことだが、南広場全体のイメージを町民の皆さんに説明をしていくべきでは。

②持ち運び、保管方法などのセキュリティが課題ですが、要望を踏まえ商工会と協議していきたいです。

採決の結果
賛成者8人、反対者3人
で可決されました。

反対討論 大住議員
本用地について、部分的にせよ開発行為を行う理由はないと言えます。これだけ大きく、一等地である本用地を、そして6つに区切った各ゾーンについて、町民の皆様に説明し、いろいろな意見を聞いた上で進めていくというのが行政の方法ではないかと考えますので、本議案に反対します。

一般会計補正予算に対する討論

答 今回の開発行為は、緊急性のある子ども未来ゾーンの約1haだけです。残りの約5ha(5区画、5ゾーン)は、町民のご意見を聞きながら進めていきます。

のことだが、南広場全体のイメージを町民の皆さんに説明をしていくべきでは。

一般会計など9会計の決算を認定

9会計の総支出額は119億5千8百万円、一般会計は前年比8億7千2百万円減の69億4千4百万円で認定

第3回定例会で付託された平成26年度各会計決算審査特別委員会（阿保委員長・10名）は10月5日から7日に開催し、9名の委員から145項目の質疑があり、審査の結果、9会計の決算を認定しました。主な審議内容は次のとおりです。

通勤手当・旅費

①通勤手当の区分は何段階に分かれているのか。

②旅費の実費支給の考え方

どのくらいかけているのか。

国からも趣旨を踏まえた良識ある対応

と通知があります。本町の寄付額に対する贈答品の提

供率は、35.2%です。



贈答品の一例「キレイマメセット」

貸切バス借上補助

①貸切バスの借上げに対する補助金の実績と前年との増減は。

23件で83万6千円

の支出、前年と比べ11件、29万円の増です。26

年度より新たに単位自治会を年1回、レンタカーの利用、人数を11人からと拡大しています。これが増の要因と判断しています。

②鉄道、飛行機については実費ですが、宿泊代などは定額です。宿泊代の実費支給が進んでいる状況から再度協議、研究したいと考えています。

非常に暗いところが見受けられるが、部活帰りの子どもなどにも配慮が必要ではないか。

ふるさと納税贈答品
答品は寄付額に対し



浦幌生活維持路線バス

浦幌生活維持路線バス

①バスの利用実績は。

10人、前年比較4,782人の増。一般は985人、120人の減です。

高校生は1万3,0

町税の徴収体制

①十勝市町村税滞納整理機構における本町分の収納実績は。

②役場内の徴収体制は。

防犯灯は子ども達にとって一番重要なと考

えていて、設置について

は、各自治会長からご意見をもらいました。設置した経過があ

ります。不安がある場合は、自治会長の意見をいただきたいと考えています。

臨時福祉給付金

①滞納金徴収対策推進本部の中で、関係課局の担当者が連携、情報交換をしています。

141万500円、収納率

は56.2%です。

予算作成時は税情報を把握することができます。広報紙、民生委員や町のケアマネージャーを通じ申請漏れのないよう努めましたが、結果として給付対象外の方が多く、予算に対し減少しました。

ふるさと納税の贈答品
答品は寄付額に対し

帯広厚生病院運営費

問 帯広厚生病院へ補助している452万円は不採算部門への補てんなの方。

答 当初、帯広厚生病院が新設移転する際の建築費を負担する予定でしたが、関係機関で協議した結果、運営費分を市町村で負担をするものです。なお、この補助金は特別交付税の対象となります。

答

焼却炉の修繕を行いました。昭和55年3月に建設され、かなりの年月が経つており、毎年専門業者による保守点検を行い計画的に修繕しています。



本別火葬場

本別火葬場

問 工事請負費の約12万円の内容は。

答 新規開業5件、約1,164万円の補助。新製品開発1件、30

起業家支援奨励事業

問 ご成婚された農業後継者2組に記念品を贈呈しています。また、カツプリングパーティーを催した時の1組が、本年8月にご成婚されています。

答 件数と内容は。まことにいるのか。

グリーンサポートセンター

活動内容と成果は。



本別火葬場

問 ①カラスを捕まえる箱わなでどのくらい捕獲したのか。また、将来的にカラスを減らすために箱わなをふやす考えはないのか。



カラスの箱わな

考える会への支援

問 本別高校の教育を考える会への補助金を増額した結果、どのように評価、効果をどう捉えているか。

答 ①箱わなで34羽捕獲しています。今年、箱わなの改良等を行った結

答

支援策は大きく分けて2つあり、生徒に魅力を感じてもらうための支援、保護者の負担軽減です。多くの大学入学者、100%の就職決定が成果としてつながったものと確信しています。

ゲンキッチン

問 ゲンキッチンで試作して新しく商品化されたものは。

答 蓿子パン、クッキー、ようかん等が試作され、道の駅で販売されています。



ゲンキッチン

決算審査特別委員会

ふるさと納税寄付金

ふるさと納税にかかる寄付の内容は。

問

年間363件、646万2,517円です。道外が339件で、ほとんどが東京圏の方からです。

答



総括質疑

問

投資的経費が前年比約43%減の約11億4千万円を計上している。投資的経費は地域経済の要なので、地域経済の活性化

採決の結果
賛成者8人、反対者1人で認定されました。

反対討論 大住議員

政策全体が町民への説明不足。負担金、補助金等の成果が現れていないこと。また、関係機関との連携が不十分なので反対します。

一般会計歳入歳出決算 認定における討論

仮称ですが、子どもホームの建て替え、学校の大規模改修など大きな財政を必要とする事業がふえていますので、基金を有効に活用させていただきますが、それに頼ることなく国の補助や地方創生を活かしながら、財政も含めてしっかりと努力していきます。

答

も未来センター、老人ホームの建て替え、学校の大規模改修など大きな財政を必要とする事業がふえていていますので、基金を有効に活用させていただきますが、それに頼ることなく国の補助や地方創生を活かしながら、財政も含めてしっかりと努力していきます。

介護保険事業特別会計

市民後見人制度

市民後見人制度で資格を取られた方のフォローアップ体制は。

答

今後もフォローアップ研修に取り組んでいきながら、引き続き担つていただきけるよう環境づくりに努めたいと考えています。

本町では、市民後見人養成研修了者が、社会福祉協議会のあんしんサポートセンターに登録し、定期的な見守り、買い物支援、後見サービス、金銭管理等サービスなどの活動を行っています。



東勇足浄水場

簡易水道特別会計

保守点検等の考え方には。

答

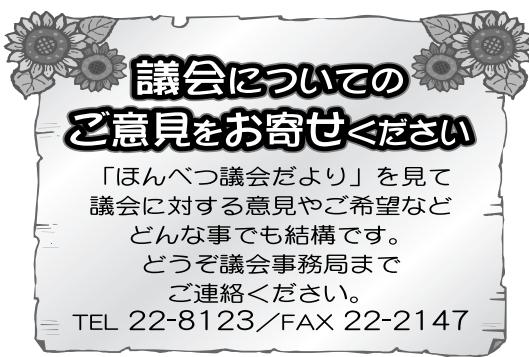
年に1回、各施設の大規模な保守点検を行っています。また、24時間体制で水量や異常の監視、週3回現地に赴き全ての配水施設の点検を行っています。

国保病院の運営

現金・預金の残高が約7,872万円と少ないと感じるが、病院の運営についての考え方は。

答

年度末の預金は前年比で1,200万円ほど減額していますが、預金以外にも約4,200万円の未収金など補てん財源がありますので、経営には差し支えないと考えています。不足する場合は、必要に応じ一時的に借り入れをし運営しています。



一般質問

6人の議員から11問



商店街（北3丁目）

本町の人口は昭和34年の1万8,700人をピークに減少を続け、9月の町広報では7,586人です。また、本年6月の新聞報道では、平成26年度の管内人口動態で最も減少し

大住議員 人口減少は、まちづくりを行う上で大きな問題です。人口対策と市街地の活性化対策について伺います。

1点目として、本町の人口は昭和34年の1万8,700人をピークに減少を続け、9月の町広報では7,586人です。また、本年6月の新聞報道では、平成26年度の管内人口動態で最も減少し

高橋町長 人口問題に関しては、国の総合戦略を勘案し、雇用の創出、新しい人の流れ、結婚、出産、子育ての充実、安心、安全な地域づくりを掲げた施策を展開します。

高橋町長 ①定住化政策の強化ということですが、そのためには教育、医療等の環境が



大住啓一議員

答 総合戦略の展開と空き店舗対策は、JAや商工会と連携

人口減少対策と市街地の活性化対策について

行政・商業

ているのは、本別町の180人です。若い人が安心して結婚、子育てができる総合的な施策の展開が必要だと思いますが考え方は。

2点目として、商店街の空き店舗がふえる中、農家の直売店などとして利用することも必要だと思いますが考え方は。

高橋議員 ①イベントによる交流人口がふえてきたことから、改めて定住政策を強化するべきだと思いますが考え方は。

②定住化政策の強化のためには、経験者であるIターン者、Uターン者を組織して意見を聞くべきでは。

③本別子ども民泊受入の会による農村ホームステイも成果を挙げていると思います。

将来的には本町に住んでいただけの人が生まれるよう、農家、農協、町が連携して取り組むべきでは。

行 政

定住化政策を強化するべきでは

環境の整備に努めていきます



高橋利勝議員

大きな要素となっていますので、それらを整えながら定住化というプロセスをまちづくりに生かしていきます。

②Iターン、Uターンの皆さんの中で聞かせていただきながら取り組んでいきます。

③限られた滞在日数から言つて難しいと思います。

取り組みについては、しっかりと応援させていただきます。



ホームステイの高校生

移住、定住促進のための取り組みは

答 住宅支援制度として、次年度からの改修を目標に企画立案



藤田直美議員

宅の購入、賃貸住宅建設など、あらゆる支援のあり方を検証し進めています。

②高齢者等住まい・生活支援検討委員会による実態調査では、本別市街地区だけで約250件の空き家、60カ所の空き地があります。土地取得に関しても、住宅支援制度の仕組みづくりの中でも同時に検討を進めていくべき課題であると考えています。

藤田議員 安心して結婚、出産、子育てができる環境を目指し、若い世代の移住や定住促進、環境整備等の取り組みについて伺います。

①本別町に移住、定住を考えている方や子育て世代にマイホーム購入、新築経費など費用の一部を支援する考えは。

②若い方を含め市街地の土地を購入したいという声を聞きます。老朽化したリフォーム不能な空き家などを整理して土地を購入しやすくする考えは。

高橋町長 ①住宅新築時だけの支援に限らず、住宅支援制度として新築、改築、中古住



本別市街

マイナンバー通知カードが届かない場合は 暮らし

答 調査を行つて本人に連絡します



マイナンバー通知カードが届かない場合は

①通知カードが届いた後には問い合わせがふえるのではと予想しています。

高橋議員 マイナンバー制度

に向け今年の10月に全世帯

に個人番号が通知され、来年1月より利用が開始されるとともに個人番号カードの交付も始まります。そこで、以下2点について伺います。

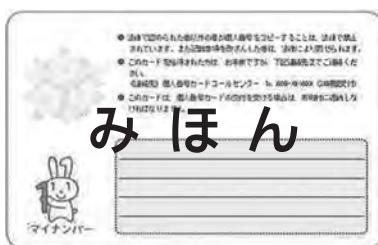
①マイナンバー制度については、広報「ほんべつ」などで町民に周知しているとのことでですが、町民の関心は薄いような気がします。さらなる周知が必要だと思いますがどのように考えていくか。

高橋町長 ①通知カードが届いた後には問い合わせがふえるのではと予想しています。

②通知カードが届かない場合は市町村に返還されますので、調査を行つて本人に連絡し、窓口で本人または代理人の確認を行いカードを交付することとしています。



(表)



(う ら)

マイナンバー通知カード

旧ふるさと銀河線、線路用地払下げ状況は

答 平成27年度中に足寄町境まで進める考え方です



小笠原良美議員

処分を終えて、27年度より上本別から足寄町境までの処分をすることにしています。

②農繁期を終える頃より、関係地権者と具体的な譲渡協議に入り、27年度中に足寄町堺まで進めてまいります。

③道路の補修等に使用するにはクラッシャーという機械にかけて細かくしなければならず、運搬コストがかかることも含めてなかなか利用はでききれないところです。

小笠原議員 ①旧ふるさと銀河線線路用地払下げ状況と、関係者への説明後、確定測量してから2年半以上経過している、上本別から足寄町境までの関係者への対応は。

②仙美里地区では用地購入希望者が少ないと聞くが、希望者が少なくとも早く手続きをして土地を引き渡すべきでは。

③用地購入希望のない場所の砂利を町道の修理等に利用ができないものか。



旧ふるさと銀河線（上本別）

18歳選挙権への対応は

答 可能であれば出前講座なども検討します



阿保静夫議員

別高校、農業大学校において出前講座等の実施が可能な場合、選挙運動や罰則等についても理解を深めてもらう取り組みを検討しています。

阿保議員 参議院において選挙年齢を18歳以上に引き下げる法改正が全会一致で可決し、すでに首都圏では小中高、若年層へ政治教育などの取り組みが報道されています。約240万人が新有権者になります。

本町においても、学校現場や若年層への啓発活動を行うべきと考えますが見解を伺います。

中川選管委員長 今まで、小中学校の授業で選挙制度の学習や実際の投票箱等の使用等を行っています。



高橋町長
町選挙管理委員会としては本

高橋町長 新有権者登録におけるパンフレット配布や町広報、街頭啓発等さらに充実します。

阿保議員 行政として、学生以外の方、すでに働いている方への周知もますます大切と考えますが。

新老人ホームの運営形態は町営がよいと思う

答 各事業者からヒアリングを行い決めます

阿保議員 地域密着型特別養護老人ホーム2カ所の整備計画が示され、運営形態は1カ所目は民営、2カ所目は未定とのことです。

①町職員は現行水準の待遇が維持されるべきと考えますが見解を伺います。

②さらに町民の皆さんに説明と理解を図ることが重要と考えますが。

高橋町長 ①現職員の待遇については、不安の無いように町が責任を持つて対応します。運営形態については各事業者からヒアリングを行い決定する予定です。

②町民の将来に、より良い施設であるようにしつかり説明していきたいと思います。

阿保議員 基本的に運営形態については、町営が良いと考えますが。



老人ホームふれあいまつり

高橋町長 各施策の財源や施設運営が厳しくなる中、この事業が継続、持続できる、そのためいろいろな力を借り「オール本別」で体制をとつてていきたいと考えます。

藤田議員 全国的に少子化が進む中、本別町の出生率は上昇しており、次世代を担う子どもたちの健全な育成を願い、祝福するべきだと思います。

①出産祝い金または出産記念品の種類をふやし選択制とする考えは。

②支援センターの一時預かり保育も就労に限り第3子以降を無料化にする考えは。

③職種や就労形態の多様化により休日保育を必要とする方がいますが、休日保育をする考えは。

高橋町長 ①第2子以降は選択可能な新しい木製品の出産記念品と満3歳の誕生日を迎える3年間、埋立ごみ袋の無償配布を検討しています。

②こども園を含めた子育て支援拠点施設を計画しており、

出産、子育て支援の拡充について 誕生から高校卒業までの18年を通して支援します

答 誕生から高校卒業までの18年を通して支援します

事業の中に盛り込み、質問された方向で十分に検討していきます。

③一昨年のアンケート調査では、約2割の方が休日保育を見込みを勘案し、早い時期に結論が出せるよう努力します。



出産記念品の積木

農業

本町の生乳生産について

答

高収益型畜産を実現するため 支援体制が取れるよう努力



篠原義彦議員

篠原議員 本町の基幹産業の一角である生乳生産は、酪農経営安定に最も重要だと思います。本町のさらなる発展を図るためにも様々な施策が必要と思います。本年8月には農協法が改正され、農業所得の増加や、六次産業化などに積極的に取り組むよう求められています。これらに対し、どのように支援し参画するのか伺います。



家族経営の搾乳風景

高橋町長 本町の持続的な発展を図るために、本年1月に町が代表となつて、本町に畜

産クラスター協議会が設立されました。高収益型の畜産体制を実現するため、機械のリースなどは農協が主となり、また、農協において、TMRセンター、複数戸法人化、畜産系バイオマスなどが進められていますので、財源対策など補助事業含め情報提供しています。

大住議員 昨今の公立高校配置計画により、本別高校が統廃合の対象となつた場合、地域への影響は計り知れません。本別高校存続に向け、どのような対策を講じているのか、又、本町では「本別高校を考える会」へ、年間約1,900万円の補助金を交付し、同会で各種の支援、運動、関係機関への要請などを行っています。今後は更に、JA、商工会も含め全町を挙げての要望が必要だと思いますが考え方を伺います。

又、本年7月に特別支援学校の誘致を望んでいる町民の方に、教育長はどのような考えを伝えたか伺います。

教育

本別高校存続に向けた対策について

答

近隣町や帯広市への中学校訪問で 生徒確保へ



本別高校

中野教育長 本別高校の生徒確保対策では、中学校の卒業生が減少している中、魅力あ

る高校、夢を実現できる高校づくりのため補助をしていますし、生徒確保のため近隣町や帯広市を訪れてています。存続要望はオール本別で展開していくかと考いています。特別支援学校誘致は非常に難しい状況であり、近年は廃校となる高校を支援学校にしていることから、しばらく様子を見るため運動は避けたほうがいいと話をしています。

この他に「出来秋」の見通しと、農業予算の考え方を質問しました。

意見書

第3回定例会では3件の意見書が提出され全て可決されました。可決された意見書は内閣総理大臣、北海道知事など関係機関へ送付しました。意見書の要旨は、次のとおりです。

道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

道教委は、「公立高等学校配置計画」により募集停止や再編、統合を行つてゐる。地域に高校を存続させ、希望する全ての子どもに豊かな後期中等教育を保障していくべき。

そのために地域の意見・要望を十分反映させ、地域の活性化を展望した新たな「高校配置計画」「高校教育制度」の検討を行うこと。

提出者 黒山 久男
可決

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

1. 地球温暖化対策のため森林吸収減対策を位置付け森林整備や木材利用の財源を確保すること。
2. 森林整備事業及び治山事業の財源を確保すること。
3. 地域の実情に合わせた対策を開拓し、林業再生対策の財源を確保すること。

提出者 高橋 利勝
可決

国益を損なう TPP交渉からの撤退を求める意見書

TPP交渉にあたり次の事項について強く要望する。
早期妥結の姿勢をやめ、日本政府譲歩案を撤廃すること。

1. 倘会合の交渉結果を公開すること。
2. 情報開示を徹底し、閣僚会合の交渉結果を公開すること。
3. 国会決議を順守する立場から交渉から撤退すること。

提出者 山西 三三夫
可決

第3回 定例会

本町で長年幼児期の学校教育を担つています「学校法人釧路カトリック学園」より、幼保連携型認定こども園を、平成29年4月にスタートさせたい旨の申し入れがありました。

本町としても、「認定こども園」の整備を推進するため、平成27年7月に「本別町就学前教育・保育のあり方について」の指針を策定しました。

これを踏まえ、8月6日から、「本別町子ども・子育て会議」「民生委員児童委員会議」「保育所・幼稚園の保護者」などに対する説明をしてきたところです。今後は「学校法人釧路カトリック学園」を本別町幼保連携型認定こども園の開設者に絞り、残された細部についての協議を継続し、さらに、子ども・保護者等が、子どもにとつても最善の施設づくりを目指します。

幼保連携型認定こども園の整備対応



こども園建設予定地（南3丁目）

本別町住宅改修等助成

本町で初めての一般住宅改修等助成事業については、今年度を含めて3カ年の事業であることを「暮らしの情報紙かけはし」などで、周知を図っています。

本年度の申込件数は124件（10万円口が75件、30万円口が49件）交付額の合計が2,220万円となり、工事費を集計したところ、非常に大きな経済効果額となりました。



十勝議長会議員研修会 10月23日



全道議会広報研修会 8月19日



新任議員研修会 7月23日

写真で見る議員活動

委員会レポート

総務常任委員会

開催され、今後は公募に向けて取り組むことが確認されました。

調査日／平成27年7月21日

○仙美里中学校跡地の利活用について

(2)特別支援学校の開設に向けた動き

(1)仙美里中学校施設等利活用検討経過

①仙中施設等利活用検討委員会（府内会議）は平成24年10月から平成26年8月まで5回開催され、利活用の提案、特別支援学校の取り組みについて報告を受けています。また、仙美里中学校跡地活用検討会（仙美里地区）は平成25年9月から平成26年9月まで4回開催され、仙美里地区の意見や要望の聴取、特別支援学校の誘致の説明が行われました。

しかし、特別支援学校の仙美里中学校跡地への誘致が難しくなったことから、平成27年に入り府内会議を受けて、6月9日、7月16日の仙美里地区の検討会が

特別支援学校の誘致にあたっては、「特別支援学校を考える会」本別障がいの子を持つ親の会「そらの会」が運動を進めて来ましたが、仙美里中学校跡地への誘致は断念せざるを得ず、今後は新たな方向性への検討が進められます。

まとめ

仙美里中学校の利活用について、特別支援学校の誘致が難しくなったことから、府内会議、仙美里地区の誘致の説明が行われました。

検討会と協議のうえ公募をすることになりましたが、決定にあたっては、仙美里地区の皆さんと協議のうえ、できるだけ早い対応が必要で

ています。

行政視察

総務常任委員会

調査日／平成27年6月30日

（二セコ町、喜茂別町）

総合計画の進捗状況と今後の見通しについて

(1)二セコ町では第5次総合計画（平成24年～平成35年）におけるまちづくりの

基本理念は「環境創造都市」



仙美里地区公民館で出前委員会

への誘致を断念せざるを得ないことからも、関係者と協議を進め、今後の対応について具体的に進めるべき

と思います。

で、既に策定されている

「二セコまちづくり基本条例」との整合性をとりながら、最高のまちづくり施策として位置づけられています。4年ごとの基本計画の見直し作業は、町民アンケートの実施、町民委員会による検証と評価、結果公表により必要に応じて見直しています。

(2)喜茂別町では第5次総合計画（平成24年～平成31年）策定にあたっては町民各界の24人による「まちづくり審議会」が設置され策定されています。

計画の中間見直しは、平成27年に後期基本計画を見直しますが、目標達成の具体的手段である実施計画は、計画期間を3年間とし毎年度見直しています。

なお、町民要望や施策に対する意見は、中学生、高校生まで含めた町民アンケート、毎年5地区で開催される町民懇談会により計画の策定や見直しに反映しています。

まとめ

総合計画の策定や見直しにあたっては、町民の意見を聞くために、二セコ町では町民ヒアリングやアンケート、子ども・大人ワークショップなど、喜茂別町では中学校3年生以上80歳未満の全ての住民を対象にしたアンケート、毎年度5地区に分けて町民懇談会を行つており、本町としても町民の意見を聞く場として大いに参考にするべきだと思います。



二セコ町

喜茂別町



今回、2回目の取材に応じていただきました柳町にお住まいの本間正義さんにお話を伺いました。退職されて3年が経つたそうですが、1年目は朝起きて「さて今日は何しようか」と、戸惑ったそうです。現在は柳町自治会長であり、町自治会連合会の役員もさうです。本間さんご自身は議会の傍聴は、中央地区連合会の中でも年に一度は傍聴しようと話されているようです。

議会の傍聴は、中央地区連合会の中でも年に一度は傍聴しようと話されているのです。また、「質問も答弁も短く

「傍聴には年1、2回しか来ていませんがもう少し来ていいませんがもう少し来ていいです」

傍聴されて、「議員も町も真剣に取り組んでいますが、今後はもっと、人口減少問題や地方創生に対する少問題や地方創生に対する政策が大事であり、農大生のこと。若い人が定住できる政策の存在も大きいので農業対策をしっかりとやってほしいこと。また、本別高校の存続問題もしっかりとやってほしい」と政策に対して多くのご意見をいただきました。

簡略化しては。そのほうが傍聴者にはわかりやすいのでは、「議場の音響をもつとクリアにしたらどうか」、「多くの方に傍聴に来ていただき、議会を自分の目で見てほしい」など、感想を述べられていました。

趣味はゴルフですが、本別のゴルフ場が閉鎖されてしまったことが残念だったことです。これからは、暇を見つけて旅行にでも行きたいと話されていました。

議会日誌

[8月]

- 4日 第3回臨時会、議員協議会、議員会総会、産業厚生常任委員会
18~19日 全道議会広報研修会（札幌市）
21日 十勝町村議会議長研修会（足寄町）
26日 池北三町行政事務組合議会臨時会（足寄町）
28日 十勝林活議連協議会総会、十勝林活連絡会議総会（音更町）
31日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）

[9月]

- 4日 議会運営委員会
8日 第3回定例会開会、議員協議会、林活議連役員会、議員会役員会
11日 議会運営委員会
16日 本会議（一般質問）
17日 本会議（議案審議、決算提案）、広報広聴常任委員会
18日 本会議（決算提案）、議員協議会
25日 議員協議会
29日 決算勉強会

[10月]

- 5日 各会計決算審査特別委員会
6日 各会計決算審査特別委員会
7日 各会計決算審査特別委員会、広報広聴常任委員会
13~15日 産業厚生常任委員会行政視察（当別町、鷹栖町）
20日 徳島県小松島市議会来町
21日 議員協議会
23日 十勝町村議会議長研修会（士幌町）
26日 広報広聴常任委員会
27日 産業厚生常任委員会所管事務調査
29日 遠別町議会視察来町

[11月]

- 2日 広報広聴常任委員会
10日~11日 全国町村議会議長会（東京都）
13日 清水町議会視察来町

**12月定例会は
8日から予定しています**

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか



資源を大切に――

ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。